

**年末年始展示イベント「さる」**  
2016年の干支である「さる」をテーマに、みんなく所蔵の資料や写真を展示し、世界各地の「さる」を紹介します。  
会期 12月10日(木)～1月26日(火)  
会場 本館ナヒひろば

■関連イベント  
◆トークイベント  
「みんなく×ニフレル——人と生き物をつなぐ」  
世界の人びとと動物との関わりをテーマに、本館と生きているミュージアム・ニフレルが人と生き物との関係、生き物文化誌を紹介いたします。

日時 1月11日(月)・祝 13時30分～15時  
会場 本館第5セミナー室(定員100名)  
※要事前申込、参加無料  
◆ワークショップ  
「ふむむむなるほどーみんなく初歩き」  
日時 1月11日(月)・祝 10時30分～16時30分(受付16時まで)

会場 本館展示、本館エントランスホール  
※当日受付先着順 参加無料、定員350名、6歳未満の方は保護者同伴で参加  
◆みんなくミュージアムパートナーズのワークショップ  
※詳細はみんなくホームページをご覧ください。

国際シンポジウム  
The 7th INDAS International Conference  
"Structural Transformation in Globalizing South Asia"  
日時 12月19日(土)、20日(日) 両日10時～  
会場 本館第5セミナー室  
※要事前申込、参加無料、発表・討論は全て英語で行い、同時通訳はつきません。

お問い合わせ先  
「現代インド地域研究」国立民族学博物館拠点事務局  
e-mail: mindas@dc.minpaku.ac.jp

みんなくミュージアムパートナーズ「点字体験ワークショップ」  
日時 12月12日(土) 12時～15時30分  
会場 本館エントランスホール  
※申込不要、参加無料

みんなくミュージアムパートナーズ  
「地球探検紀行」  
みんなくの研究者が驚きと感動をお届けします。世界の文化の奥深くへ一緒にどこぞ。  
みなく展示ツアー  
「貝の魅力——その使用価値、装飾的価値、象徴的価値」  
12月23日(水)・祝 本館展示場 定員30名  
講師 飯田卓(本館准教授)  
※要展示観覧券  
お申込み・お問い合わせ先  
一般社団法人ナレッジキャピタル  
06・6372・6530

時間 13時～14時30分  
会場 あべのハルカス近鉄本店「スペース9」  
※要事前申込(参加状況により当日受付あり)、参加費各回1000円(定員各回50名)  
共催 産経新聞社、近鉄文化サロン、スペース9特別協力 国立民族学博物館、千里文化財団  
12月9日(水)  
カザフの食文化——草原の恵みと人生儀礼  
講師 藤本透子(本館助教)  
12月16日(水)  
ユーロピアの遺跡を訪ねて  
——ポリビア・パラグアイ・アルゼンチン  
講師 齋藤英(本館教授)  
お申込み・お問い合わせ先  
ウエーブ産経カレッジシニアター係  
06・6333・9087  
●中央・北アジア、アイヌの文化  
展示リニューアルのお知らせ  
展示リニューアル工事のため、中央・北アジア、アイヌの文化展示場を2016年3月16日(水)まで閉鎖しています。  
●展示場閉鎖のお知らせ  
設備工事のため、2016年1月から3月に各展示場を順次閉鎖する予定です。詳細はホームページに掲載するともに、本誌1月号以降でもお知らせいたします。  
●休館日、無料観覧日のお知らせ  
年末年始は12月28日(月)～1月4日(日)まで休館します。1月11日(月)・祝 成人の日は本館展示を無料で観覧いただけます。ただし自然文化園(有料区域)を通行される場合、入園料が必要です。  
※各イベントについてくわしくはみんなくホームページをご覧ください。  
※電話でのお問い合わせの受付時間は、9時～17時(土日祝を除く)です。

ゆつたり東南アジア  
——春のみんなくフォーラム2016  
舞踊や音楽などのイベントを通して、ゆつたりとした東南アジアの日常を体感してください。  
■関連イベント  
◆みんなく映画会「映画で知る東南アジア」  
現代の東南アジア社会がかかえる課題とそこで生きていく人びとについて考えます。  
「イロイロ めくめく」の記憶」  
第31回みんなくワールドシネマ  
日時 12月12日(土) 13時30分～16時  
「虹の兵士たち」  
日時 1月10日(日) 13時30分～16時30分  
「消えた画クメール・ルージュの真実」  
日時 1月24日(日) 13時30分～16時  
会場 本館講堂(定員450名)  
※申込不要、要展示観覧券、13時開場、11時から本館2階観覧券売場にて整理券を配布  
◆ワークショップと講演  
「東南アジアの仮面と人形」  
日時 2月13日(土)、14日(日)、20日(土)、21日(日)、27日(土)、28日(日)  
各日11時～13時(開場10時30分)  
会場 本館第5セミナー室  
※要事前申込(12月11日～1月26日17時必着)  
◆展示場クイズ「みんなくQ」東南アジア編  
12月10日(土)～1月12日(火)

みんなくセミナー  
時間 13時30分～15時(13時開場)  
会場 本館講堂  
定員 450名(当日先着順)  
参加費 無料(展示を閲覧になる方は展示観覧券が必要です)  
第451回 12月19日(土)  
ベトナム、黒タイの台所  
講師 樫永真佐夫(本館准教授)

ベトナム、黒タイの台所  
西北ベトナムの盆地にいらしている黒タイの高床の家には囲炉裏があります。囲炉裏は台所のシンボルです。しかし近年の急速な市場経済化の進展とインフラストラクチャーの整備により、各家庭の台所設備、家族生活における囲炉裏の位置づけは大きく変わりました。台所からくらしを見つめ直します。  
ベトナム、黒タイの囲炉裏と火桶

みんなくワークショップ・サロン  
時間 14時30分～15時30分  
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)  
本館の研究者が来館された皆様の前に登場します！  
「研究について」「調査している地域(国)の最新情報」「展示資料について」など、話題や内容は実に多彩。  
12月6日(日) 本館ナヒひろば  
東南アジアの1日 ※この日は11時より開催  
話者 信田敏宏(本館教授)  
12月13日(日) 本館第5セミナー室  
ベトナム、ターイの台所  
話者 樫永真佐夫(本館准教授)  
12月20日(日) 本館展示場東南アジア横休憩所  
タイ・ラオスの仏教寺院の歩き方  
話者 平井京之介(本館教授)

関雄二 編  
『古代文明アンデスと西アジア——神殿と権力の生成』  
朝日新聞出版 1,300円(税抜)  
農耕や土器づくりよりも先に神殿を築いた古代アンデス文明と、同様にまず祭祀センターを築いた西アジア文明。文明の形成期に権力はどう発生し、社会階層が形成されていったのかを2つの古代文明を比較しながら考える。

友の会  
友の会講演会(大阪)  
会場 本館第5セミナー室(定員96名)  
※当日先着順、会員無料(会員証提示)、一般500円  
第449回 12月5日(土) 14時～16時  
カナダの魚食文化——日本人移民との関わりから  
講師 河原典史(立命館大学教授)  
カナダの食文化について、どのようなイメージをお持ちでしょうか。ビーフやメープルシロップ、そしてやはりサーモンなどの魚食の文化が挙げられるのかもしれない。カナダには多様な魚食文化がありますが、それらは19世紀末にカナダへと渡った日本人移民とも深い関係があります。イクラやカズノコ、ニシンのほか、今ではすっかりカナダ社会に溶け込んでいる巻き寿司「BCロール」から、カナダの魚食文化と日本人移民史について考えます。  
●講義(14時～15時10分) 終了後、講師と気軽に交流できる懇談会を実施します。  
第450回 2016年1月9日(土) 14時～16時  
イスラーム化と向き合う先住民  
——新東南アジア展示から読みとく  
講師 信田敏宏(本館教授)

山中由里子 編  
『(驚異)の文化史——中東とヨーロッパを中心に』  
名古屋大学出版会 6,300円(税抜)  
アレクサンドロスも遭遇したという怪物から、謎の古代遺跡や女だけの島まで、たえず人々の心を魅了してきた(驚異)。旅行記や博物誌が語り、絵画や装飾品に表れるその姿は、人間の飽くなき好奇心を映し出す。

竹沢尚一郎 編  
『ミュージアムと負の記憶——戦争・公害・疾病・災害：人類の負の記憶をどう展示するか』  
東信堂 2,800円(税抜)  
戦争・公害・災害、20世紀は悲惨な出来事の記憶に満ちている。ミュージアムはこれらの惨禍を記憶し、それに公的な意味を与えることを求められてきた。しかしミュージアムは国家や公共団体を与えようとする意味の単なる媒体者ではない。どうすればミュージアムはこれからの出来事に複数の意味を与え、来館者を思索へといざなうことができるのか、を問う。

友の会  
友の会講演会(大阪)  
会場 本館第5セミナー室(定員96名)  
※当日先着順、会員無料(会員証提示)、一般500円  
第449回 12月5日(土) 14時～16時  
カナダの魚食文化——日本人移民との関わりから  
講師 河原典史(立命館大学教授)  
カナダの食文化について、どのようなイメージをお持ちでしょうか。ビーフやメープルシロップ、そしてやはりサーモンなどの魚食の文化が挙げられるのかもしれない。カナダには多様な魚食文化がありますが、それらは19世紀末にカナダへと渡った日本人移民とも深い関係があります。イクラやカズノコ、ニシンのほか、今ではすっかりカナダ社会に溶け込んでいる巻き寿司「BCロール」から、カナダの魚食文化と日本人移民史について考えます。  
●講義(14時～15時10分) 終了後、講師と気軽に交流できる懇談会を実施します。  
第450回 2016年1月9日(土) 14時～16時  
イスラーム化と向き合う先住民  
——新東南アジア展示から読みとく  
講師 信田敏宏(本館教授)

友の会講演会(大阪)  
会場 本館第5セミナー室(定員96名)  
※当日先着順、会員無料(会員証提示)、一般500円  
第449回 12月5日(土) 14時～16時  
カナダの魚食文化——日本人移民との関わりから  
講師 河原典史(立命館大学教授)  
カナダの食文化について、どのようなイメージをお持ちでしょうか。ビーフやメープルシロップ、そしてやはりサーモンなどの魚食の文化が挙げられるのかもしれない。カナダには多様な魚食文化がありますが、それらは19世紀末にカナダへと渡った日本人移民とも深い関係があります。イクラやカズノコ、ニシンのほか、今ではすっかりカナダ社会に溶け込んでいる巻き寿司「BCロール」から、カナダの魚食文化と日本人移民史について考えます。  
●講義(14時～15時10分) 終了後、講師と気軽に交流できる懇談会を実施します。  
第450回 2016年1月9日(土) 14時～16時  
イスラーム化と向き合う先住民  
——新東南アジア展示から読みとく  
講師 信田敏宏(本館教授)